

ほけんだより

(11月号)

池上わかば保育園

園庭の木々も色づきはじめ、季節の移り変わりが目で楽しめる頃となりました。子どもたちは元気いっぱい園生活を送っています。

さて落ち葉も散るこの季節、気温も下がり空気が乾燥しがちになり、感染症も流行しやすくなります。子どもたちの体調の変化には、いつも以上に注意していきましょう。

(下痢・嘔吐の対処法について)

下痢・嘔吐の原因として感染性胃腸炎があります。感染性胃腸炎は、下痢・嘔吐に伴い腹痛・発熱も症状として現れることがあります。その際、一番避けなければならないことは脱水を起こしてしまう事です。脱水には水分補給が欠かせませんが、過剰な水分補給は、弱った胃腸を刺激してしまい嘔吐を誘発し、返って脱水を悪化させてしまう恐れがありますので、こまめな水分補給を心掛けましょう。

下記の症状があれば病院の受診が必要とされる状態

- ・ 頻回の下痢と嘔吐があり、ぐったりしている
- ・ クリーム色の便で魚の様な生臭いにおいの便がある
- ・ 血便
- ・ 少量の水分補給でも頻回に嘔吐する
- ・ 発熱及び腹痛がある
- ・ 顔色が悪く、唇がカサカサしていて紫色している

※排泄物の検査をする場合があるため受診時、排泄物を袋に入れて病院へ持っていくことをお勧めします。



(インフルエンザ予防接種について)

子どもの場合は、1シーズン2回接種が標準です。接種してから2週間以上たたないと効果が現れないので接種される方は12月の流行期に入る前に済ませるようにしましょう！！ただし、インフルエンザワクチンは鶏卵でウイルスを培養するため、卵アレルギーのあるお子さんや痙攣の既往があるお子さんは、医師に相談してください。下記の表を参考に、予防接種の日程を決めると良いです。

ワクチン接種例

